

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

(単位：千円)

No	補助・単独	交付対象事業の名称	所管課	計画申請時の事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③積算根拠（対象数、単価等） ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	事業 始期	事業 終期	A 決算・実績						事業の成果・効果		予算区分	
							総事業費	B				G 補助対象外経費	事業の成果 （アウトプット）	事業の効果検証 （アウトカム）		
								補助対象 事業費	C 国庫補助額	D 交付対象 経費	E 起債予定額					F その他
合計							403,936	395,118	11,334	341,191	0	42,593	8,818			
1	単	防災情報システム強化事業	防災管理室	①現在、災害時の情報伝達は、屋外拡声子局からの音声発信で、風向きや天候、場所により聞こえ方が異なるため、防災気象情報等が住民に対して十分に伝達できていないなどの課題があった。 災害時に情報を発信する目的は、気象や避難等に関する情報を市民に迅速・的確に伝達することであり、この情報によって、市民一人ひとりが自らの今後の災害危険性を把握し、自らの判断により適切な避難行動をとることができるようにするため、防災行政無線放送をスマートフォンやタブレットから同時に流すことを可能とする。 ②IP防災無線親局システム設置等 ③1 親局設置 28,300,000円 2 親局設備システム設定費 5,500,000円 3 回線冗長化 60,000円 4 屋外拡声子局用通信用IP無線装置 15台 17,250,000円 5 スピーカー切替器 15台 4,200,000円 6 材料費 4,400,000円 7 労務費 8,871,000円 8 諸経費 10,419,000円 9 消費税 7,900,000円 ④市内全域	R3.8	R3.12	86,900	86,900	64,453		22,447		携帯通信網を活用した災害情報伝達方法を整備した。 ・黒石市防災情報システム強化業務委託料 86,900,000円	携帯通信網を活用した災害情報伝達方法が確立された。	R3補正（地）	
2	単	避難所における専用スペース確保対策事業	防災管理室	①災害時、避難生活における被災者のプライバシー（女性専用・授乳やオムツ替えに）を確保する。 ②災害用プライベートルールの設置 ③フレームと生地が一体構造のワンタッチ式プライベートルーム（W2,100mm×D2,100×H1,800）22個×62,000円×1.1=1,500,400円 ④指定避難所（公民館及び地区センター）10か所及び防災管理室	R3.7	R3.10	1,500	1,500	1,500					災害時の避難生活における被災者のプライバシーを確保するため、ワンタッチ式プライベートルームを購入 ・災害用プライベートルーム 22張 1,500,400円	災害時の避難生活時にプライベートルームを確保することが可能となった。	R3補正（地）
3	単	新型コロナウイルス感染症対策をとった申告相談業務	税務課	①申告相談会場内の待合スペースで申告者の3密を回避するため、待合スペースを会場外にも設置する。また、国税の申告相談の日程が延びたことによる事務処理等の時間外勤務手当とコロナ対策による出張申告に係る時間外勤務手当。 ②暖房器具に使用する燃料費（灯油）と時間外勤務手当 ③暖房器具1台当たりの1日（7時15分から17時まで）の灯油使用量・・・・・・18ℓ 使用する暖房器具・・・3台 ・申告期間 18ℓ×4台×27日間（申告実施日）=1,458ℓ 1,458ℓ×@84.70円=123,493円（端数切上） ・申告相談が17時で終了しない分 1.8ℓ（1時間辺り）×3台×14時間=76ℓ ※時間数は令和元年度実績 76ℓ×@84.70円=6,438円（端数切上） 時間外勤務手当：平均単価1,678×480時間=805,440円 ④市民・黒石公民館多目的ホール	R3.12	R4.3	941	941	941					事業期間中は、2,256人の来場者があり、申告相談を受け付けた。 そのうち11日間は、各地区の公民館へ出向き、出張申告を行った。	混雑時においても来場者がソーシャルディスタンスを確保できるよう、待合スペースを広く設置したこと及び出張申告を行うことで、来場者の混雑を緩和し、感染防止につながった。	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

[illegible]

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

8	単	集団健診における感染症対策事業	健康推進課	①市民対象の集団健診実施における感染拡大防止対策 ②感染症対策のために健診の実施方法を従来と変更したため、それにかかる諸経費 ア 実施準備分と追加人員分の時間外勤務手当、報償費及び費用弁償 イ 感染症予防物品及び健診実施方法通知のための用紙購入費 ウ 健診希望調査回収の際に従事者と市民の接触機会を減らすための郵送に係る費用 エ 健診従事者が着用する予防衣のクリーニング代 オ 健診会場の密状態解消のために広い健診会場に変更するための会場賃借料 ③別紙予算書参照 ア時間外 193,485円 イ報償費(看護師)7,512円 ウ費用弁償 801×3人×1日=1,202円 エ 40,292円 オ 955,226円 ・健診希望調査個別返信郵送料 94×10,000人×1/2(国保)=470,000円 ・健診希望調査無回答者へ向けた健診申込案内郵送料 63×7,702人=485,226円 カ 2,800円 ・予防衣洗濯 200×14人×1回=2,800円 キ 91,696円 ・中会議室使用料 330×8時間×10日=26,400円 ・親子アリーナ使用料 770×8時間×10日=61,600円 ・大会議室使用料 880×3時間=2,640円 ・大会議室使用料(時間外) 1,056×1時間=1,056円 ④健診受診者、地方公共団体	R3.4	R4.3	1,261	1,261			983		278	・集団健診実施回数 32回 ・希望調査回収数 5,162人 ・感染拡大防止ちらし配布数 4,260枚	市民対象の集団健診において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施したことで ①健診希望調査を封書による通知にしたことで従事者と市民の接触機会を減らすことができた。 ②入場者の人数制限を設け、整理券を配布し受付時間を30分ごとに区切る、又は健診項目ごとに受付時間を設けることで密集を回避できた ③受診者へ感染拡大防止対策協力の旨を書いたチラシを配布し、感染予防の意識づけを実施することにより受診者が安心して受診できる体制づくりができた。また、感染拡大防止症対策により担当職員も安心して従事することができるようにできた。	R3補正(地)
9	単	子育て包括支援における感染症対策事業	子育て世代包括支援センター	①子育て包括支援における感染拡大防止対策 ②感染症対策のために子育て包括支援の実施方法を従来と変更したため、それにかかる諸経費。 ア 消耗品 ③ア 63,862円 ・ディスプレイ 8,580×4箱=34,320円 ・ディスプレイ 935×4箱=3,740円 ・ウェルバス 605×9本=5,445円 ・ロールシート 9,075×1箱=9,075円 ・サーモフレッシュ(温度表示オートスプレー) 10,780×1台=10,780円 ・単3電池4本入(サーモフレッシュ用) 502×1=502円 ④乳児家庭、妊産婦、地方公共団体	R3.4	R4.3	56	56			51		5	・訪問件数171件 ・産前産後サポート実施回数 30回 ・産前産後サポート参加人数 459人	乳児家庭全戸訪問事業、産前産後サポート事業における新型コロナウ拡大防止対策のため、従来の方法を見直し実施した。イルス感染症育児に関する不安や悩みの傾聴、養育環境の状況把握などを行うことができた。また、子育ての孤立化を防ぎ、妊娠期から子育て期までの不安の軽減や産後を図ることができた。	R3補正(地)
10	補	保育対策総合支援事業費補助金(保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金)	福祉総務課	①保育所等において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、衛生安全用品等の購入に要した費用のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。 ②・感染防止のための衛生安全用品等の購入、施設の消毒に必要な経費 ・職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するために必要な経費 ③保育所・幼保連携型認定こども園 定員20-59人 400,000円×3施設 定員60人以上 500,000円×6施設 児童厚生施設 300,000円×5施設 ④保育所、幼保連携型認定こども園、児童厚生施設	R3.4	R4.3	5,608	5,608	2,804	2,804				施設の感染対策に必要な衛生安全用品の購入や施設の消毒に係る経費を補助した。 ・保育所・認定こども園 9施設 ・児童館・児童センター 5施設	感染防止のための衛生安全用品の購入や施設の消毒を適切に行うことができ、職員及び施設利用児童の健康維持と施設の継続開所に努めることができた。	R2補正(国)

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

11	補	子ども・子育て支援交付金	福祉総務課	①地域子ども・子育て支援事業実施施設において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、衛生安全用品等の購入に要した費用のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。 ②・感染防止のための衛生安全用品等の購入、施設の消毒に必要な経費 ・職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するために必要な経費 ③延長保育事業（7施設） 1,700,000円 一時預かり事業（5施設） 1,500,000円 地域子育て支援拠点事業（3施設） 600,000円 病後児保育事業（1施設） 300,000円 放課後児童健全育成事業（10ヶ所） 4,100,000円 ④地域子ども・子育て支援事業実施施設	R3.4	R4.3	8,048	8,048	2,682	2,683		2,683	施設の感染対策に必要な衛生安全用品の購入や施設の消毒に係る経費を補助した。 ・延長保育事業 7施設 ・一時預かり事業 5施設 ・地域子育て支援拠点事業 2施設 ・病後児保育事業 1施設 ・放課後児童健全育成事業 10クラブ	感染防止のための衛生安全用品の購入や施設の消毒を適切に行うことができ、子育て支援事業に携わる職員及び利用児童の健康維持と施設の継続開所に努めることができた。	R2補正（国）
12	補	子ども・子育て支援交付金（令和3年度分）	福祉総務課	①地域子ども・子育て支援事業実施施設において、感染症に対する強い体制を整え、感染症対策を徹底しつつ、事業を継続的に提供していくため、衛生安全用品等の購入に要した費用のほか、職員が感染症対策の徹底を図りながら事業を継続的に実施していくために必要な経費を補助する。 ②・感染防止のための衛生安全用品等の購入、施設の消毒に必要な経費 ・職員が感染症対策の徹底を図りながら業務を継続的に実施するために必要な経費 ③放課後児童健全育成事業（2クラブ） 定員20-59人400,000円×2ヶ所 ④地域子ども・子育て支援事業実施施設	R3.4	R4.3	799	799	267	266		266	施設の感染対策に必要な衛生安全用品の購入や施設の消毒に係る経費を補助した。 ・放課後児童健全育成事業 2クラブ	感染防止のための衛生安全用品の購入や施設の消毒を適切に行うことができ、子育て支援事業に携わる職員及び利用児童の健康維持と施設の継続開所に努めることができた。	R2補正（国）
13	補	子ども・子育て支援交付金（放課後児童クラブ臨時休業特別開所分）	福祉総務課	①新型コロナウイルス感染症対策に伴う小学校の臨時休業等により、春休み終了後の翌日以降（夏季、冬季、学年末などの休業日を除く。）、放課後児童健全事業を平日において午前中から開所するための経費を補助 ②通常の開所以外の部分に係る経費（人件費の他実施に必要な経費） ③11,000円×32日（5/17-5/26実施分） 11,000円×5日×12ヶ所 ④放課後児童健全育成事業実施事業所	R3.4	R4.3	352	352	117	118		117	小学校の臨時休業等に対応するため放課後児童クラブを午前中から開所する際の経費を補助した。 ・平日開所日数3日 4クラブ ・平日開所日数5日 4クラブ	小学校等の臨時休業の際に放課後児童クラブを午前中から開所することで、新型コロナウイルス感染対策のための急な学校休業であっても、保護者及び児童が安心できる居場所づくりができた。	R2補正（国）
14	単	新型コロナウイルス感染症関連対応時間外勤務手当	福祉総務課	①新型コロナウイルス感染症に関係する事業実施のため ②事業実施に伴う時間外勤務手当 ③2,300円×3時間×3日×6月×3人 ④市民、市内事業者等	R3.4	R4.3	372	372		372			感染対策事業への対応 密防止のための夜間窓口開設 ・対応職員6人	感染対策事業の整備と、夜間窓口による来庁者の分散により、接触機会を減らすことができた。	R3補正（地）
15	単	子ども医療費等給付事業（郵送料）	福祉総務課	①感染症予防のため窓口受付を郵送受付に変更する ②郵送受付変更に伴う郵送料 ③児童手当給付事業（現況届返信） 94円×2,000×0.7 子ども医療費給付事業（更新申請返信・資格証送付） 94円×50×12月 94円×1,867×0.5 404円×50×12 404円×1,867×0.5 児童扶養手当給付事業（資格証送付） 404円×5×12 ひとり親家庭等医療費給付事業（現況届返信・受給者証送付） 94円×343 404円×343 ④各事業対象者	R3.4	R4.3	941	941		941			各種申請についての通知の際に返信用封筒を同封し、郵送による申請手続きを推奨した。 ・児童手当給付事業（現況届返信） 1,219件 ・子ども医療費給付事業 更新申請返信 784件 資格証送付 1,573件 ・児童扶養手当給付事業（資格証送付） 48件 ・ひとり親家庭等医療費給付事業 現況届返信 272件 受給者証送付 178件	窓口での手続きを不要とすることで、市民と職員の接触機会を減らし、感染対策を図ることができた。特に、例年、短時間に多数の対象者が来庁する各種現況届手続きを郵送受付にしたことで、受付場所の密防止を図ることができた。	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

16	単	新型コロナウイルス対策事業	新型コロナウイルス対策室総務課職員係	①公共施設等における新型コロナウイルス感染症の感染防止 ②公共施設等における蔓延防止に係る経費 ③別紙積算資料有り 時間外勤務手当 683,000円 消耗品費 1,383,000円 備品購入費 1,616,000円 ④公共施設・学校施設・福祉施設・指定管理施設等管理者	R3.4	R4.3	3,009	3,009		2,945		64	【新型コロナウイルス対策室分】 ・新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議開催数 9回 ・チラシ毎戸配布回数…4回・抗原検査キット購入…600回分 【職員係分】 コロナ禍における感染拡大防止対策として、職員同士の接触機会の低減を図ることを目的とし、市内5公民館において施設利用型テレワーク（サテライトオフィス）を施行実施し、5課延べ92人が利用した。	・国県等の感染対策の方針を踏まえ、新型コロナウイルス感染症総合対策本部会議を開催し、決定した方針内容を周知するため、市広報紙での情報発信に加え、チラシを全世帯に毎戸配布するなど、市民の感染予防意識の高めることができた。 ・公共施設従事者で感染疑い者が発生した際、感染疑い者以外の職員への検査及び健康観察により、施設運営が継続可能な体制を整備した。 ・サテライトオフィスの施行実施により、感染症対策に限らず、災害時における業務継続へ向けた環境整備につなげることができた。	R3補正（地）
17	単	黒石産農産物ファンマーケティング展開事業	農林課	①コロナ禍によりインターネット販売の需要が急増しているなか、黒石産農産物の販路拡大による農業所得向上を後押しするため、産直ECサイトへの出店支援を行う。 また、産直ECサイトと連携しサイト内に黒石市特設ページを開設し、特設ページを活用した各種プロモーション活動の展開により、産地の魅力発信と多くの商品の中から黒石産品が選ばれダイレクトに購入できる場を構築し、リピート購入者の獲得を目指す。 ②ア 黒石市特設ページ開設・プロモーション業務委託費 イ 事業推進事務費 ③ア 委託費：3,476,000円 生産者向け登録説明会、出品フェア・窓口開設 黒石市特設ページ開設、特設ページPR業務 SNS等を活用した各種プロモーション活動 イ 事業推進事務費：時間外勤務手当：289,000円 消耗品費：100,000円 通信運搬費：10,000円 ④市内農業者	R3.6	R4.3	3,874	3,874		3,874			産地直送通販サイトへの出店支援を行った。また、出店に際して、サイト内に黒石市特設ページを開設した。 ・黒石市特設ページ開設業務委託料 3,476千円 ・その他事務費 399千円	コロナ禍によりインターネット販売の需要が急増しているなか、黒石産農産物の販路拡大による農業所得向上を後押しするため、産地直送通販サイトへの出店支援を行い、産地直送通販サイト内に黒石市特設ページを開設し産地の魅力を発信することで、多くの商品の中から黒石産品が選ばれダイレクトに購入できる仕組みを構築した。 これにより、リピート購入者の獲得に繋がり、農業経営体の農業所得の向上に寄与することができた。	R3補正（地）
18	単	飲食業応援補助事業	商工課	①長引く新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて、深刻な経営状況に陥っている飲食業者の事業継続を促す。 ②実際に支払った5月分の経常経費（上下水道料金、家賃等）相当分について、1店舗あたり15万円を上限（上下水道料金は5万円上限、家賃等は10万円上限）に補助する。 ③飲食業応援補助金 13,013,000円（うち一般財源2,000円） ・時間外勤務手当 24,000円（うち一般財源1,000円） 1,989円×4h×3月＝24,000円 ・消耗品費 ファイル等 20,000円 ・通信運搬費 20,000円 84円×238件＝20,000円 ・広告料 66,000円 新聞広告20,000円×3回×税 ・補助金 12,883,000円（うち一般財源1,000円） 家賃等相当分 96,090円×95件 上下水道料相当分 27,400円×137件 ④市内飲食業	R3.4	R4.3	13,012	13,012		13,011		1	〈店舗、土地の賃借料〉 想定95件に対し、95件に交付した。 〈上下水道料〉 想定137件に対し、137件に交付した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、事業の運営に支障が生じた市内飲食店の事業の維持及び継続を支援した。 ※支援効果額 9,129,000円（店舗、土地賃借料分交付総額） 3,753,917円（上下水道料分交付総額）	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

19	単	新型コロナウイルス感染防止対策用品配布事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症防止対策に必要な物品を配布し、飲食店が自ら行う感染防止対策を支援する。 ②非接触型アルコール消毒液噴霧器、二酸化炭素濃度測定器を無償配布する。 ③新型コロナウイルス感染防止対策用品配布事業 3,045,000円（うち一般財源2,000円） ・時間外勤務手当10,000円（うち一般財源1,000円） 1,989円×5h×1人=10,000円 ・報償費 20,000円 ・消耗品費 2,954,000円（うち一般財源1,000円） 非接触型アルコール消毒液噴霧器 7,650円×157個 ×税 二酸化炭素濃度測定器 9,400円×157個×税 ファイル等 9,000円 ・通信運搬費17,000円 84円×200件=17,000円 ・広告料 44,000円 新聞広告20,000円×2回×税 ④市内飲食業	R3.4	R4.3	3,044	3,044		3,043		1	（二酸化炭素濃度測定器） 想定157件に対し、157件に1個ずつ配布した。 （非接触型アルコール消毒液噴霧器） 想定157件に対し、157件に1個ずつ配布した。	市内飲食店の、新型コロナウイルス感染防止対策への意識啓発を促し、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する意識が高まった。	R3補正（地）
20															
21	単	新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金事業（拡大）	商工課	①新型コロナウイルス感染症に対応した融資制度を利用し、金融機関から借入れた資金に係る償還利子を一部補給するとして、令和2年9月1に当該基金を設置し積み立てたが、補助対象者を拡大（令和3年1月から同年3月までに融資を申請した方も対象に追加）して実施する。なお、同補助金をすでに受けている方を除くとともに、1事業者あたり年額10万円を上限とする要件は維持する。 ②新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金（R2年9月設置）に、補助対象者拡大分の補助金支出分を積み立てる。 ③利子補給基金事業（拡大）3,186,000円（うち一般財源4,000円） ・通信運搬費 8,000円（うち一般財源1,000円） 84円×90件=7,560円 ・時間外勤務手当 16,000円（うち一般財源1,000円） 1,989円×4h×2月=15,912円 ・消耗品費 10,000円（うち一般財源1,000円） ・広告料 44,000円 22,000円×2回 ・積立金 3,108,000円（うち一般財源1,000円） 1事業者あたりの補助金見込額103,600円×申請見込件数30件 ④令和3年1月から同年3月までに、市内に所在する店舗又は事業所の代表者が借入人で、新型コロナウイルス感染症対応の融資を申請した者。（同補助金をすでに受けている方を除く。）	R3.4	4.4以降	3,185	3,185		3,181		4	（対象者） 新型コロナウイルス感染症に対応した融資を、令和3年2月1日から同年5月31日までに受けた市内事業者 （基金名） 新型コロナウイルス感染症対策利子補給基金（令和2年度に設置済） （積立額） 令和2年度実施本事業の対象者拡大分として想定30件に対し、30件の利子補給額（3,107,195円）を積み立てた。 （補給期間） 令和2年度から令和7年度まで	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で事業に支障が生じた事業者の資金繰りを令和7年度まで支援する仕組みを構築した。 ※支援効果額3,107,195円（積立総額）	R3補正（地）
22	単	黒石市産業会館トイレ改修事業	商工課	①新しい生活様式への対応として、各種展示や即売会など不特定多数の方が利用する黒石市産業会館1階トイレの洋式化・非接触化による飛沫拡散防止等を進め、同トイレ利用者の新型コロナウイルス感染症予防対策を強化する。 ②黒石市産業会館1階トイレの改修工事（洋式化・非接触化等） ③黒石市産業会館トイレ改修事業 ・工事請負費 2,693,000円（うち一般財源1,000円） ・男子トイレ 洋風便器、小便器・手洗い自動水洗、照明センサー取付 ・女子トイレ 洋風便器、手洗い自動水洗、照明センサー取付 ・多目的トイレ 洋風便器、手洗い自動水洗、照明センサー取付 ・その他付帯工事一式 ・消費税込み ④黒石市産業会館利用者等	R3.4	R4.3	2,693	2,693		2,692		1	（事業内容） 黒石市産業会館1階の男子トイレ、女子トイレ、多目的トイレの洋式化、非接触化 （工事費） 2,692,800円 （竣功日） 令和3年10月29日	新型コロナウイルス感染症による新しい生活様式への対応として、黒石市産業会館1階トイレを洋式化し、非接触化したことで、新型コロナウイルス感染症予防対策を強化した。	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

23	単	黒石エールマーケットプロジェクト支援事業	商工課	①長引く新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、経営に大きな打撃を受けている市内事業者の事業継続を促すため、市内商店等の物産、食品、農産物等を特別価格で販売する事業等を支援する。 ②市内の店舗情報を掲載したマガジンの作成、及び黒石エール市（弁当、物産、食品等の特別販売）等を開催する。 ③黒石エールマーケットプロジェクト支援事業 874,000円 ・補助金 874,000円 新聞折込手数料 160,000円 東奥日報 6,600枚×4円×3回×1.1＝ 87,120円 津軽新報 5,500枚×4円×3回×1.1＝ 72,600円 印刷製本費 288,000円 A4両面チラシ 12,100枚×7.2円×3回×1.1＝ 287,496円 委託料 300,000円 チラシデザイン料（計3回）300,000円 消耗品費 36,000円 ボールパーテーション案内板 2枚×3,840円＝7,680円 ベルトパーテーション 8本×3,480円＝27,840円 賃借料 90,000円 屋台1機3,000円×10機×3回＝90,000円 ④市民等	R3.4	R4.3	874	874	874			（イベント名） 黒石エールマーケット （開催日） ①令和3年8月21日～22日 延べ13店舗、延べ330人来場 ②令和3年10月30日～31日 延べ9店舗、延べ1,040人来場 ③令和3年12月18日～19日 延べ15店舗、延べ470人来場	新型コロナウイルス感染症拡大により打撃を受けた市内飲食店の活性化を図ったほか、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※支援効果額874,000円（交付総額）	R3補正（地）
24	単	ワークスペース創出事業	商工課	①コロナ禍をきっかけとして企業と働き手の意識・行動が大きく変容し、企業が進めている新しい生活様式に対応した働き方を受け入れることができるワークスペース（空き家等を活用したコワーキングスペースやシェアオフィス）等の環境を整備・改修するために必要な支援を行う。 ②新しい生活様式に対応した働き方を構築する費用（工事費、委託料等）を支援する。 ③ワークスペース創出事業 1,085,000円（うち一般財源3,000円） ・時間外勤務手当 60,000円（うち一般財源1,000円） 1,989円×30h×1人＝59,670円 ・消耗品費 20,000円（うち一般財源1,000円） ・通信運搬費 5,000円（うち一般財源1,000円） 84円×50通＝4,200円 ・補助金 1,000,000円 ④市内事業者等	R3.4	R4.3	1,084	1,084	1,082	2	（事業内容） ・Wi-Fi環境整備 ・トイレ改修 （事業完了日） 令和4年2月28日 （補助金） 想定2件の申請に対し、1件の申請があり、1件に交付決定した。	新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式等の変化を踏まえ、リモートワーク等の新しい働き方の推進を図るためのワークスペース創出により、こみせ通りの休憩スポットとしての機能も兼ね備えたワークスペースを創出した。 ※支援効果額1,000,000円（交付総額）	R3補正（地）	
25	単	観光魅力発信事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症の影響によりダメージを受けている市の観光業の早期回復と収束後の反転攻勢を見据え、当市の観光PR動画の制作および発信をし、市のイメージアップと認知度向上を図り誘客促進に繋げる。 ②市の魅力を発信するための動画制作、PRするための広告料等 ③動画制作等委託及び広告に係る経費 26,529,000円 旅費 302,000円 事務費 175,000円 ④観光客	R3.4	R4.3	26,894	26,894	26,894		・市の魅力を全国に発信するオール黒石ロケによる特別番組を制作し、令和4年2月26日BS朝日に放送した。 ・令和2年度に制作した黒石テレビCMを秋田・岩手両県の民放テレビ7局で放送した。 ・併せて市の魅力を伝える観光ポスターを各300部5種類制作し、市内外の観光施設等200か所へ配布した。	黒石市を舞台に今までにない切り口でストーリーを展開する内容とコマーシャルも全て黒石市を紹介する番組を放送することにより県内外からの反響があり、市の魅力を全国に発信することができた。 また、市の観光スタイルをわかりやすくPRするCMを秋田・岩手両県に放送することにより、両県からの観光客増加に繋がった。 その他、放送だけではなくポスターで形を残して宣伝することにより、来訪者の増加に繋がった。	R3補正（地）	

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

26	単	観光イベント感染対策体制強化事業	観光課	①黒石市内で開催されるイベントについて、会場内のエリアマネジメントやその他イベント運営における感染症対策を講じることで安心・安全を意識した誘客イベントの実施を目指す。来訪者のソーシャルディスタンスや誘導等を行うことで、集客が見込まれるイベントのリスク削減を図ることができるもの。 ②イベントを開催するための感染対策体制強化に係る経費 ③委託料 3,464,000円 事務費 171,000円 ④地方公共団体等	R3.4	R4.3	3,581	3,581			3,579		2		・黒石さくらまつり実施にあたり、会場内での飲酒を禁止し、飲食は決められた場所に限定した。ルールを徹底するため、エリアマネジメントとしてネットフェンスの設置を実施し、入込数は6,200人となった。 ・中野もみじ山紅葉狩りを安全に行うため、会場入り口での検温・手指消毒・連絡先の把握を行った。行政のマンパワー不足を補うため黒石観光協会に協力を委託し、入込数は41,000人となった。	黒石さくらまつり、中野もみじ山紅葉狩りとも、クラスター等発生することなく安全にイベント実施ができた。コロナ禍でも実施できたことにより、アフターコロナの入込数回復が見込める。	R3補正 (地)
27	補	学校保健特別対策事業費補助金(感染症対策等の学校教育活動継続支援事業)7	学校教育課	①各学校が感染症対策等を徹底しながら、夏季休業期間の短縮等により研修機会を逸した教職員に対し研修に必要な経費を支援する取組及び児童生徒の学習保障をするための取組を実施するに当たり、校長の判断で迅速かつ柔軟に対応することができるよう、学校教育活動の円滑な運営を支援する経費 ②実施する場合に要する経費のうち、補助対象外分。 ③購入費 ・小学校 消耗品 飛沫パーテーションほか 462,190円 備品 サーマルカメラほか 1,877,260円 学校配分 2,657,000円 ・中学校 消耗品 消毒用アルコールほか 788,480円 備品 ポータブルクーラーほか 224,862円 学校配分 1,085,000円 計 7,094,792円 7,094,792円 - 補助限度額3,400,000円 = 3,694,792円 ④市内小中学校	R3.4	R3.11	7,080	7,080	3,400		3,680				感染対策のための消耗品購入及び備品購入	・各学校に感染症対策のための保健衛生用品(消毒用アルコール等)を整備し、感染拡大防止が図られた。 ・感染予防と熱中症予防を両立しながら、教育活動を円滑に行うことができた。	R2補正 (国)
28	単	議場における新型コロナウイルス感染症対策事業	議会事務局	①議場における新型コロナウイルス感染拡大防止のため、折り畳み型アクリル板を購入し、議長席及び演壇に設置する。 ②感染拡大防止のための物品購入 ③議長席用アクリル板26,400円、演壇用アクリル板33,000円 合計 59,400円 ④市議会議場	R3.4	R4.3	59	59			59				議場内の議長席及び演壇に飛沫防止用アクリル板を設置した。 アクリル板購入費 59,400円	発言者の前面及び側面にアクリル板を設置することで飛沫を防止し、新型コロナウイルス感染症対策が図られた。	R3補正 (地)
29	単	Web会議システム構築事業	広報情報システム課	①市職員及び来庁者、地区住民の感染予防対策 ②市の庁舎(4か所)にインターネットで接続可能なWeb会議用の環境を追加構築する。 ③物品購入 (1)中規模環境(2か所:本庁舎3F(中会議室)、教委2F) ・液晶ディスプレイ(64.5型) 228,800円×2か所 = 457,600円 ・ディスプレイスタンド 43,780円×2か所 = 87,560円 ・スピーカーフォン(中型) 59,400円×2か所 = 118,800円 ・Web会議用PC 134,200円×2か所 = 268,400円 (2)小規模環境(2か所:産業会館4F、本庁舎3F) ・スピーカーフォン(小型) 30,800円×2か所 = 61,600円 ・Web会議用PC 134,200円×2か所 = 268,400円 ④市	R3.10	R4.3	1,262	1,262			1,262				購入品内訳 (1)中規模環境 2か所:本庁舎3F(中会議室)、教委2F ・液晶ディスプレイ(64.5型) 228,800円×2か所=457,600円 ・ディスプレイスタンド 43,780円×2か所=87,560円 ・スピーカーフォン(中型) 59,400円×2か所=118,800円 ・Web会議用PC(財源変更) 134,200円×2か所=268,400円 (2)小規模環境 2か所:産業会館4F、本庁舎3F ・Web会議用PC 134,200円×2か所=268,400円 ・スピーカーフォン(小型) 30,800円×2か所=61,600円	リモートでの外部機関との打合せ、会議等に活用され、感染予防対策として非常に大きな効果がある。	R3補正 (地)

令和３年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

30	単	重度心身障害者医療費現物給付事業	福祉総務課	①重度心身障害者医療費助成事業の社保加入の対象者は今まで償還払いであったが、現物給付化することにより、窓口での手続きを不要とし外出する機会を減らすことで、新型コロナウイルス感染症で悪化リスクの高い基礎疾患を抱える障害者の感染リスクを減らすことができる。 ②現物給付に伴う諸経費 ③時間外勤務手当54,000円（2,663円×2h×10日＝53,260円） 印刷製本費3,000円（追加分受給者証64円×32枚×1.10＝2,252円） 通信運搬費52,000円（簡易書留404円×128名＝51,712円） 手数料30,000円（審査支払事務費手数料76.1円×128名×3ヶ月＝29,222円） 委託料605,000円（システム改修） ④現在重度心身障害者助成事業の対象者で社会保険各法の加入者	R3.9	R4.3	703	703		595	108	社会保険加入者の重度心身障害者医療費助成の現物給付化に伴うシステム改修等の経費。 ・システム改修委託料 605,000円 ・受給者証印刷 3,000円 ・郵送料 52,000円 ・審査支払手数料 4,091円 ・時間外勤務手当 39,192円	重度心身障害者医療費助成を現物給付化し、窓口での手続きを不要とすることにより外出する機会を減らすことで、新型コロナウイルス感染症で悪化リスクの高い基礎疾患を抱える障害者の感染リスクを減らすことに寄与した。	R3補正（地）
31	単	新型コロナウイルス感染症対策事業	税務課 財政課 総務課 管財係	①市職員及び来庁者の感染予防対策 ②新型コロナウイルス感染症対応を行う市職員の時間外勤務手当と庁内及び来庁者用の感染予防対応の消耗品 ③感染症対策対応 (1)時間外勤務手当 705,547円 (2)消耗品費 49,500円 ④市	R3.4	R4.3	727	727		727		・発熱者及び接触者の代替勤務を行ったことにより、来庁者及び職員への感染の可能性をなくすることができた。 ・申告相談の開始時間前後及び相談者（2,256人）の入れ替わりの都度、清掃・消毒作業を行った。	・感染予防となったことに加え、日直・夜警業務を職員が代替勤務する体制を構築できた。 ・申告相談内容によっては、市職員と相談者とが近接する時間が長くなるが、適切な清掃・消毒作業により、相談者の安心安全と市職員及び相談者相互の感染拡大防止に寄与した。	R3補正（地）
32	単	農産物等輸出促進事業 「ムツニシキＪｕｍｐＵｐプロジェクト」	農林課	①アフターコロナを見据えた農業経営基盤の強化を図るため、コロナ禍による内食需要の増加と簡便ニーズの拡大により市場が拡大している包装米飯や冷凍麺の商品化に向けた取り組みを推進し、海外輸出と併せたビジネスモデルを構築することで、農業経営の維持発展に導くことを目的とする。 ②ア 海外テストマーケティング・フィードバック業務委託 イ 事業推進事務費 ③ア 委託費：8,800,000円 試食用サンプル品の輸送及び通関手続き業務 テストマーケティング・プロモーション活動業務 アンケート調査の実施・集計・分析 ブラッシュアップ提案書の作成 イ 事業推進事務費 時間外勤務手当：201,000円 消耗品費：2,481,000円 通信運搬費：18,000円 ④市内農業者および消費者	R3.10	R4.3	11,498	11,498		9,200	2,298	コロナ禍により市場が拡大している包装米飯や冷凍麺等の商品化に向けて取り組んだ。また、香港においてテストマーケティングを実施し課題等を整理した。 ・海外テストマーケティング業務等委託料 8,800千円 ・消耗品費（テスト用包装米飯、そば乾麺、そば半生冷凍麺） 2,481千円 ・その他事務費 218千円	アフターコロナを見据えた農業経営基盤の強化を図るため、コロナ禍による内食需要の増加と簡便ニーズの高まりにより市場が拡大している包装米飯や冷凍麺等の商品化に向けて取り組み、海外におけるビジネスモデルを構築するため、香港においてテストマーケティングを実施し課題等を整理したことで継続的な農業経営の維持発展に導くことができた。	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

33	単	キャッシュレス決済導入支援事業	商工課	①会計時の、現金授受による他者との接触機会の軽減及び混雑緩和等、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「新しい生活様式」への対応策としてのキャッシュレス決済導入を支援する。 ②キャッシュレス決済を新規に又は追加で導入した事業者に対して、1店舗につき3万円（定額）を交付する。 ③キャッシュレス決済導入支援事業 9,156,000円（うち一般財源1,832,000円） ・時間外勤務手当40,000円（うち一般財源8,000円） 2,200円×3h×6月 ・消耗品費 20,000円（うち一般財源4,000円） ファイル等 20,000円 ・通信運搬費 30,000円（うち一般財源6,000円） 交付決定等通知 84円×350通 ・広告料 66,000円（うち一般財源13,000円） 新聞広告20,000円×3回×税 ・補助金 9,000,000円（うち一般財源1,801,000円） 1店舗につき30,000円×300件 ④市内事業者等	R3.10	R4.3	4,025	4,025		4,023		2	（支援金） 想定300件に対し、129件（1件30,000円。114事業者。）に交付した。 （導入した業種） ・卸売、小売業 38件 ・宿泊業 4件 ・飲食業 49件 ・サービス業 22件 ・タクシー業 6件 ・その他 10件	新型コロナウイルス感染防止対策への意識啓発を促したほか、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※支援効果額3,870,000円（交付総額）	R3補正（地）
34	単	がんばろう黒石！マッコ事業	商工課	①市民参加型による消費活性化策により、新型コロナウイルス感染症拡大防止により低迷している地域経済全体の活性化を図る。 ②市内全世帯を対象として抽選により、市内の個別の店舗ごとの商品券や黒石産品の詰合せを「マッコ」として配布する。 ③がんばろう黒石！マッコ事業 87,015,000円 ・時間外勤務手当66,000円 2,200円×3h×5月×2人 ・報償費 27,000,000円 商品券購入（30,000円×100セット、8,000円×3,000セット） ・消耗品費 60,000円 ファイル等 60,000円 ・印刷製本費 500,000円 商品券印刷15.7円×14,000円、封筒作成20円×14,000円 ・通信運搬費 8,571,000円 案内63円×14,000通、宅配料480円×10,581個、簡易書留414円×3,000通、申込返信94円×14,000通、諸通知52,000円 ・広告料 88,000円 新聞広告40,000円×2回×税 ・委託料 50,730,000円 物産購入代31,743,000円、印刷広告費 1,400,000円、梱包作業人件費 3,174,300円、梱包資材費等4,000,000円、会場借上3,300,000円、委託事務手数料2,500,000円、消費税4,611,730円 ④市内事業者等	R3.10	R4.3	79,385	79,385		72,057		7,328	（参加申込世帯） 想定14,000世帯に対し、市内11,890世帯から参加申込あり。 （参加店） 市内216店舗 （マッコの内容） 参加店ごとで使用できる商品券又は市産品詰合せが当たる抽選を行い、本事業への参加申込のあった市内世帯に、送付した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で低迷した地域経済の活性化を図ったほか、市内の消費喚起及び市内に賑わいを起こし、顧客獲得と売上向上を図った。 ※消費喚起効果額 27,000,000円（商品券購入総額） 26,400,000円（マッコ購入総額）	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

35	単	観光イベント新型コロナウイルス感染症対策支援事業	観光課	①新型コロナウイルス感染症感染防止対策をとった観光イベントや代替イベントに対し、感染防止対策に要する経費等を補助する他、中止となったイベントの活動を継続するための支援をする。 ②感染防止対策に要する経費や代替イベントの補助、活動継続のための支援金 ③事務費 17,000円 補助金 4,863,000円 支援金 1,000,000円 ④イベント主催団体	R3.4	R4.3	5,477	5,477			5,477			黒石市の大型イベントである黒石よされ及び黒石ねぶた祭りと中小規模の7イベントに対し補助金を交付した。 黒石よされは代替イベントの実施を準備していたが、保健所管内での大規模な流行により直前での中止となったため、会場設営費等支出済みの経費に対し補助金を交付した。 黒石ねぶた祭りは各運行団体がアフターコロナも活動を継続できるよう、ねぶた小屋の維持等継続に要する費用に対し補助金を交付した。（交付団体44団体） 中小規模のイベントは、新型コロナウイルス感染症対策に要した経費に対し10万円を上限に支援金を交付した。（交付団体7団体）	黒石よされ、黒石ねぶた祭りという代表的なイベントを支援したこと、コロナ禍後も伝統文化の継承が担保された。	R3補正（地）
36	単	教育研究所事業	指導課	①感染症対策を行ったうえで、小中学校の児童生徒を対象に理科研究への興味・関心と探求、創造することの素晴らしさを実感し、科学に親しむ心と科学的態度や創造力の育成を図るため、事業を実施する。 ②密を回避したうえで事業を行うための会場費 ③秋季親子科学教室（中止）、冬季親子科学教室 ・スボカルイン黒石大会議室会場費 5,280円 880円×3時間×2回 ・音響装置使用料 660円 330円×2回 ・映像装置使用料 1,100円 550円×2回 ④小中学校の児童生徒等	R3.4	R4.3	7	7			7			夏季は27組の親子等、冬季は親子17組の親子等が参加した。密を回避できる広い会場のため、音響及び映像装置を使用した。	・参加者の感想に、驚きと感動が記されていた。次年度の継続参加希望や自然の事象に対する親しみ等の記載から判断して、科学に親しむ心を育成できた。 ・音響及び映像装置を使用することにより、指示が伝わりやすくなった。また、参加者どうしの距離を長くしたことで、密を回避できるとともに、机間巡視による個別の学びへの配慮も容易となった。	R3補正（地）
37	単	米価下落対策事業	農林課	①新型コロナウイルス感染拡大による首都圏を中心とした緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の実施区域における外出自粛等で中食・外食向けの販売需要が低迷するなど、県産米の消費傾向は極めて大きな影響を受けている。 このような中、本年度の県産米生産者概算金は、全農県本部が県下の農業協同組合に対し、過去に例を見ないほど大幅な下落額が示されたため、稲作農家の経営状況は未だかつてない危機的状況であることから、農業者支援金を速やかに支給し経営状況の安定を図ることを目的とする。 ②ア 米価下落対策農業者支援金交付事業 イ 事業推進事務費(実績見込み：560,000円) ③ア 事業費：38,860,000円 内訳 ～0.5ha：15千円×542経営体＝8,130千円、0.5～1ha：30千円×196経営体＝5,880千円、 1～3ha：50千円×183経営体＝9,150千円、3～5ha：100千円×33経営体＝3,300千円、 5～10ha：150千円×24経営体＝3,600千円、10～15ha：300千円×12経営体＝3,600千円、 15～20ha：400千円×3経営体＝1,200千円、20ha～：500千円×8経営体＝4,000千円 イ 事業推進事務費：560,000円 (時間外勤務手当、消耗品費、通信運搬費) ④市内稲作農家	R3.10	R4.3	33,568	33,568			33,537		31	稲作農家に農業者支援金支給した。 ・米価下落対策農業者支援金 32,845千円（667件） ・その他事務費 723千円	新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛等で、県産米の消費傾向は極めて大きな影響を受けた結果、令和3年度の県産米生産者概算金は、全農県本部が県下の農業協同組合に対し、過去に例を見ないほど大幅な下落額が示されが農業者支援金を速やかに支給したため、経営状況の安定を図ることができた。	R3補正（地）

令和３年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

38	単	弘南鉄道運行継続支援事業	企画課	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者の減少が続いている鉄道事業者を支援し、公共交通の運営事業者を支援。 ②支援金（収入の計画額と見込額の乖離額の一部を沿線市町村における駅別利用者割合に応じて支援） ③令和３年度当初予定旅客運輸額－令和３年１１月時点旅客運輸見込み額（関係市町村の按分率は令和２年度駅別利用者割合で算出） 242,174千円－193,075千円＝49,099千円 49,099千円×1/3≒16,366千円 16,366千円×0.236（黒石市按分率）≒3,800千円 ④弘南鉄道株式会社	R4.3	R4.3	3,800	3,800	3,800				新型コロナウイルスの感染拡大により、利用者の減少等の深刻な影響を受けている弘南鉄道株式会社に対して、弘南鉄道弘南線の運行維持を目的に支援金による支援を行った。	弘南鉄道の経営安定化が図られ、地域住民及び観光客の交通手段の維持に寄与できた。	R3補正（地）
39	単	生活困窮者灯油購入費助成事業	福祉総務課	①新型コロナウイルス感染症の影響により燃油（ガソリン及び灯油等）の価格が高騰し、生活に支障が生じている生活困窮者等を支援するため、令和3年度住民税非課税世帯に対し世帯当たり灯油購入費5,000円を補助する。 ②灯油購入費補助金の一部。事業実施に係る事務費 ③・時間外勤務手当2,200×50h＝110,000 ・消耗品費 コピー用紙等 20,000円 ・扶助費 4,482世帯×5,000円＝22,410,000 ④市民	R4.1	R4.3	18,038	18,038	12,038		6,000		市内3,583件の住民税非課税世帯へ総額17,915,000円の灯油購入費助成金を給付した。	原油価格高騰に伴う灯油価格の急激な上昇及び高止まりに加え、長期化する新型コロナによる生活への影響により特に負担の大きい低所得者世帯の負担を減らすことができた。	R3補正（地）
40	単	燃油価格高騰対策支援事業	商工課	①新型コロナウイルス感染症の影響により燃油（ガソリン及び軽油等）の価格が高騰し、業務に支障が生じている市内の道路貨物運送事業者等の事業継続を促すため、支援金を交付する。 ②市内に本店を置く事業者に対し、1事業者あたり一律20万円を交付する。 ③燃油高騰対策事業 6,140,000円（うち一般財源1,000,000円） ・時間外勤務手当 66,000円 2,200円×10h×3月＝66,000円 ・消耗品費 20,000円 ・ファイル等 20,000円 ・通信運搬費 10,000円 84円×110通 ・広告料 44,000円 新聞広告20,000円×2回×税 ・補助金 6,000,000円 30件（運送業・タクシー・運転代行業等30件）×1事業者20万円 ④市内事業者	R4.3	R4.3	6,094	6,094	5,140		954		（支援金） 想定30件に対し、30件（1件300,000円）に交付した。	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で燃油価格が高騰したことにより、事業の運営に支障が生じた市内運送事業者又はタクシー事業者等の、事業の維持又は継続を支援した。 ※支援効果額6,000,000円（交付総額）	R3補正（地）
41	補	学校保健特別対策事業費補助金（学校等における感染症対策等支援事業）	学校教育課	①感染拡大時に密を避けるため、各家庭や空き教室をつなぎ、少人数による遠隔授業を実施するなど、感染症対策を徹底しながら児童生徒の学びを保证するために必要な環境整備を実施する。 ②実施する場合に要する経費のうち、補助対象外分。 ③備品購入費 42,000,000円 ・小学校 29,400,000円 ・中学校 12,600,000円 42,000,000円－補助限度額 3,600,000円 ＝38,400,000円 ④市内小中学校	R4.3	4.4以降	0	0					R4年度への繰越事業		R3補正（国）
42	単	黒石市スポーツ施設休業協力金支給事業	文化スポーツ課	①公共施設の指定管理者等への協力金や再開に向けた支援 ②スポーツ施設への休業協力金支給 ③・500,000×1施設＝500,000円 ・100,000×3施設＝300,000円 ④利用料金制で運営している施設	R3.9	R4.3	800	800	800				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、県の新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージに応じて施設を休業要請に応じた施設に対し、協力金を支給した。 500,000円×1施設 100,000円×3施設	県の新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージに応じて施設を休業要請したが、協力金を支給したことによって、施設の管理・運営に係る費用の負担軽減が図られた。	R3補正（地）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

43	単	黒石市国民健康保険黒石病院会計繰出・補助①	健康推進課 黒石病院事務局	①感染予防のため、出入口を一本化し検温・問診を実施 ②黒石市国民健康保険黒石病院事業会計に繰り出し、検温・問診に対応するスタッフとして、専門的知識が必要な事態を想定して、黒石病院の退職看護師を臨時雇用に係る人件費 ③3名を雇用：勤務時間（午前8時～正午） 賃金日額（5,156円） 交通費1名のみ月額2,000円 4～12月実績3,096,576円、1～3月見込み897,988円 合計3,994,564円 ④黒石市国民健康保険黒石病院	R3.4	R4.3	3,994	3,994		3,994				臨時雇用者3名の人件費として、3,994,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出し、3,814,331円を臨時雇用者へ支払った。	臨時雇用スタッフが来院者に対し検温・問診を実施することで、新型コロナウイルス感染症罹患者の早期発見に繋がりを、院内での感染拡大を防ぐことが可能となった。	R3補正 （地）
44	単	黒石市国民健康保険黒石病院会計繰出・補助②	健康推進課 黒石病院事務局	①新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の受入と、一般患者の診療を両立していくために、感染対策を実施していく。 ②黒石市国民健康保険黒石病院事業会計に繰り出し、院内感染対策に係る経費 ③積算根拠 ・アルコール等消耗品7,956,898円 ・面会制限時の受付業務委託料14,946,522円 ・テレビ面談用iPad通信料等88,088円 ・職員危険手当、時間外手当1,882,764円 合計24,874,272円 ④黒石市国民健康保険黒石病院	R3.4	R4.3	24,874	24,874		24,874				アルコール等消毒材17,898点、非接触型体温計22本、感染エリア寝具等運搬用バッグ（水溶性/非水溶性）500枚、発熱外来職員用作業着等33点、発熱外来誘導看板8枚、入院患者テレビ面談用iPad用カバー等13点分の購入経費と、テレビ面談用iPad通信費5台分、面会制限時の受付業務委託料12か月分、新型コロナウイルス感染患者及び疑い患者対応時危険手当及び時間外手当分14,477,837円等、併せて36,859,197円の経費の内、24,874,000円を黒石市国民健康保険黒石病院へ繰り出した。	国や県からの補助金だけでは補填しきれない経費（新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者の受入と、一般患者の診療を両立するために必要な経費）を補填し、医療提供体制の維持に寄与された。	R3補正 （地）
45	補	疾病予防対策事業費等補助金	健康推進課	①健（検）診事業に係るシステム整備を行うことで、コロナ禍でも受診しやすい環境づくりの整備を図る。 ②システム導入に係る経費 ③積算根拠 ・健（検）診結果等の様式の標準化整備事業対応業務委託料 1,507,000円 ④市	R3.12	R4.3	1,507	831		534			676	健（検）診結果等の様式の標準化システム導入一式 1,507,000円	健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針を踏まえ、健（検）診結果等の電子化した情報について、転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや、個人が一元的に確認できる仕組みづくりができた。	R2補正 （国）
46	補	疾病予防対策事業費等補助金	健康推進課	①健（検）診事業に係るシステム整備を行うことで、コロナ禍でも受診しやすい環境づくりの整備を図る。 ②システム導入に係る経費 ③積算根拠 ・健（検）診情報連携システム整備事業対応業務委託料 3,080,000円 ④市	R3.12	R4.3	3,080	1,861		1,457			1,219	健（検）診情報連携システム導入一式 3,080,000円	健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針を踏まえ、健（検）診結果等の電子化した情報について、転居時に市町村間で引き継がれる仕組みや、個人が一元的に確認できる仕組みづくりができた。	R2補正 （国）
47	補	疾病予防対策事業費等補助金	健康推進課	①定期接種に係るシステム整備を行うことで、コロナ禍でも接種しやすい環境づくりの整備を図る。 ②システム導入に係る経費 ③積算根拠 ・定期接種（ロタウイルスワクチン）に係るマイナンバー情報連携体制整備事業対応委託料473,000円 ④市	R3.4	R3.11	473	110		73			363	予防接種法に基づく定期接種（ロタウイルスワクチン）に係るマイナンバー情報連携体制整備システム導入一式 473,000円	予防接種法に基づき、ロタウイルスワクチンが定期接種化されたことに伴い、市町村間で当該予防接種記録に関する特定個人情報情報を迅速かつ正確に授受できるよう、個人の予防接種履歴を確認できる仕組みの構築ができた。	R2補正 （国）
48	補	訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金	観光課	①黒石温泉郷の面的整備の一部として津軽伝承工芸館の改修工事を行い高付加価値化を図る。 ②津軽伝承工芸館改修工事に係る設計委託料及び工事請負費 ③工事請負費9,570千円、設計委託料990千円 ④市	R3.4	R4.2	10,560	4,000		4,000			6,560	観光庁の「既存観光拠点再生・高付加価値化推進事業」を活用し、アフターコロナのインバウンド需要を見越した施設改修を行った。	改修した施設を活用し、津軽民謡・手踊りの披露が国内旅行者を対象に実施されている。インバウンドの受け入れ再開後は、更なる事業効果が見込める。	R2補正 （国）

令和3年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

49	単	飲食店及び農業者 支援事業 「黒石米ムツニシ キを食べて元気も りもりキャンペー ン」	農林課	①コロナ禍の影響により深刻な経営状況に陥っている飲 食業者の事業継続に向け、売上げ向上に資する消費キャ ンペーンを実施することで、経営の維持発展と黒石米の 消費拡大を図る。 ②黒石米ムツニシキ取扱店で食事（テイクアウト含む） をし応募すると、抽選で黒石産品が当たるキャンペーン を実施する。 ③事業費：700,000円 事業報償費：500,000円…キャンペーン景品（黒石産品 詰合せ） 印刷製本費：80,000円…キャンペーンチラシ等印刷 通信運搬費：120,000円…キャンペーン景品配送費用等 ④黒石米ムツニシキ取扱飲食店、市内農業者	R3.12	R4.3	661	661		661				飲食業の売上げ向上に資する消費 キャンペーンを実施した。 【キャンペーン内容・実績】 黒石米ムツニシキ取扱店で食事（テ イクアウト含む）をして応募すると 抽選で黒石産品の詰合せが100名に 当選するもの。 ・事業報償（キャンペーン景品） 492千円 ・その他事務費 169千円	コロナ禍の影響により深刻な経営状 況に陥っている飲食業の売上げ向上 に資する消費キャンペーンを実施す ることで、飲食業者の事業継続と黒 石産ムツニシキの消費拡大を図るこ とができた。	R3補正 （地）
----	---	--	-----	--	-------	------	-----	-----	--	-----	--	--	--	---	--	-------------